

事務事業名	真岡線愛護会参画事業				担当	総務部 企画課 企画調整係		
政策名	A	暮らしやすさが実感できるまちづくり			電話番号	0285-83-8102		
施策名	5	公共交通ネットワークの整備			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和62 年度～）		
予算科目	1. 一般会計	2. 総務費	1総務管理費	6企画費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	この会は真岡線を愛護し、真岡線の利用促進及び地域住民の利便性の確保を目的としている。茨城県筑西市を含む真岡鐵道沿線2市4町の関係者により構成される。 真岡線愛護会の主な事業：無人駅清掃委託、真岡線利用促進の為の各種事業を実施 会 員：沿線各自治体の首長、議長、商工団体の長、はが野農協組合長、沿線高等学校長、真岡線利用通勤者代表、農業共済組合長 運輸業者の代表、真岡工業団地総合管理協合理事長 会 長：真岡市長 事務局：芳賀地区広域行政事務組合							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 28年度実績 会議への出席、各事業への支援  29年度計画 28年度実績と同様		⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移 名称 単位 25年度(実績) 26年度(実績) 27年度(実績) 28年度(実績) 29年度(見込)						
		ア 事業数	事業	6	6	6	6	6
		イ 会議回数	回	2	2	2	2	2
		ウ						
		エ						
		オ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 真岡線愛護会 真岡鐵道沿線2市4町の住民		⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移 名称 単位 25年度(実績) 26年度(実績) 27年度(実績) 28年度(実績) 29年度(見込)						
		ア 会員数	団体	30	30	30	30	30
		イ 2市4町の住民数	人	253,938	251,818	250,790	249,948	249,103
		ウ						
		エ						
		オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 真岡線を利用してもらう		⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移 名称 単位 25年度(実績) 26年度(実績) 27年度(実績) 28年度(実績) 29年度(見込)						
		ア 真岡鐵道利用者数（鉄道一般）	人	1,028,861	992,614	991,669	962,573	1,024,016
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 真岡鐵道の安定した経営を支援		⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移 名称 単位 25年度(実績) 26年度(実績) 27年度(実績) 28年度(実績) 29年度(見込)						
		ア 真岡鐵道営業係数（鉄道一般）	-	110.8	113.2	115.7	118.7	117.5
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
(2) 総事業費の推移		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	373	374	374	374	374
		事業費計(A)	千円	373	374	374	374	374
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	8	8	8	8	8
		人件費計(B)	千円	33	34	34	33	33
トータルコスト(A)+(B)		千円	406	408	408	407	407	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	昭和63年に真岡鐵道株式会社による真岡線運行が開始し、真岡線廃止反対期成同盟会が廃止されたことに伴い、同会を継承する形で真岡線愛護団体として設立され、設立当初から参画している。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	高校の生徒数が減り真岡線の通学者が減少している。 自動車通勤者が増え真岡線の通勤者が減少している。 平成6年度をピーク（1,665,719人）に利用者は減少傾向にある。平成25年度以降についても利用者は減少しており、特に少子化に伴う沿線高校のクラス減により通学での定期利用等が減少している。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	栃木県関係市町が一体となり、引き続き地域の重要な公共交通機関としてその機能を持続的に展開できるよう積極的な財政支援をしていく必要がある。（真岡市議会）

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 真岡線愛護会の活動に参画することによって、真岡鐵道の利用促進を図ることは、市民の交通手段の確保につながるものであり、市の施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 真岡線愛護会の活動に参画することによって、真岡鐵道の利用促進を図ることは市民の足である公共交通ネットワークを維持・存続するものであり、市が関与することは妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 真岡線愛護会の活動を通じて、真岡鐵道の利用促進を図っている。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 会議等において会員として利用増進対策等を提案し、会員相互の議論を経て毎年度実施事業が決定されている。また、本市を含む関係者は、真岡線愛護会において決定された活動を実践しており、成果向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない この事業を廃止すると真岡鐵道への支援が大きく後退することになり、安定経営に悪影響を及ぼす。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 事業費は愛護会の負担金であり、愛護会が決定しているので市単独の裁量では削減できない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか？ (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 会議参加やイベント支援の人件費であるが、最少人数で参加しており削減余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 受益者負担はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							